

令和元年度 被災地生活支援相談員等研修会 ～被災地支援から学ぶこれからの社協の取組み～
開催要項

- 1 目的／ 東日本大震災から8年が経過し災害公営住宅や高台への集団移転などが進む現在、地域住民に近い立場での見守りや支援を行ってきた生活支援相談員等は、社協として求められる住民による支え合い活動を進める中で、大きな役割を担ってきました。
本研修では、東日本大震災から10年の区切りを前に、生活支援相談員等が担った役割を振り返り、活動を通して得た気づきを共有し、地域福祉への取組みを学びます。
- 2 主催／社会福祉法人 宮城県社会福祉協議会
- 3 日時／令和元年8月21日（水）10：00～16：00（受付開始9時30分）
- 4 会場／東松島市矢本東市民センター
〒981-0504 東松島市小松字下浮足115 電話0225-82-1180
- 5 対象／・生活支援相談員，CSW，LSAなどの被災者支援実務を担当する職員等
・市町村社会福祉協議会職員等
- 6 日程／10：00 開会挨拶・オリエンテーション
10：15 基調講義「被災者支援から地域づくりへ」
～生活支援相談員等が担った役割と意義～
講師：LOCALISM LAB（ローカリズムラボ） 代表 井岡仁志 氏
11：30 昼食休憩
12：30 ミニシンポジウム「生活支援相談員等の取組みから見えたこと」
※被災者支援を通して、住民主体の地域づくりに取り組んだ事例を学びます。
・南三陸町社会協議会
・東松島市社会福祉協議会
・岩沼市スマイルサポートセンター（公益社団法人 青年海外協力協会）
13：30 グループ討議「生活支援相談員等の活動事例から学ぶ地域づくりの取組み」
※被災者支援の事例をそれぞれの地域でも起こりうる課題として、小グループに分かれて考えます。
15：00 全体共有とまとめ
助言者：東北学院大学 特任教授 本間照雄 氏
(宮城県社会福祉協議会復興支援福祉アドバイザー)
LOCALISM LAB（ローカリズムラボ） 代表 井岡仁志 氏
16：00 閉会
- 7 申込／「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、8月14日（水）までに下記あてお送り願います。
- 8 申込先・問合わせ先／
宮城県社会福祉協議会 震災復興・地域福祉部震災復興支援室 [担当：北川／加藤]
〒980-0014 仙台市青葉区本町3-7-4 宮城県社会福祉会館3階
TEL/022-266-3952 Fax/022-266-3953

宮城県社会福祉協議会 震災復興支援室あて

ファックス／022-266-3953

申込日：令和元年 月 日

社協名：_____

送信者名：_____

連絡先番号：_____

令和元年度 被災地生活支援相談員等研修会

参加申込書

番号	参加者氏名	役職・担当名等
1		
2		
3		
4		
5		

※ 送信表は必要ありません。このまま申込み頂いて結構です。

※ 参加者が5名を超える場合は、本様式をコピーまたは別紙にて送信願います。

※ 締め切り 8月 14日 (水)